

シラバス  
(令和2年度)  
理学療法学科  
夜間コース4年生

学校法人 巨樹の会

小倉リハビリテーション学院

# 共生

共に学び 共に歩み 共に進む

私ども小倉リハビリテーション学院は、専門的な知識技術を提供する前に利用者の方々の立場に軸足を置き、思考することを第一義に考える専門家の輩出をめざしております。

本来サービスという言葉の持つ意味は利用者本位でなくてはなりません。特に保健・医療・福祉分野では、安全で個別性があり質の高いサービスの提供が相互の信頼を生むものと確信しております。

教職員および学生一同は建学の精神を心に刻み、次世代に残すべき人『人財』の育成をモットーに地域の皆様と「共」に学び・歩み・進むことをお約束いたします。

# 教育目標

- 一 心豊かに分かり合える、理学療法士・作業療法士であること
- 一 信頼される、理学療法士・作業療法士であること
- 一 暮らしを支える、理学療法士・作業療法士であること

# 令和2年度年間予定

## 令和2年度 年間予定 理学療法学科(夜間コース)

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
前期	入学式 4月3日(金)	始業 4月1日(水)	始業 4月1日(水)	始業 4月1日(水)
	面談 4月1日(水) ~ 4月2日(木)		面談 4月1日(水) ~ 4月2日(木)	
	講義 4月6日(月) ~ 7月17日(金)		講義 4月6日(月) ~ 7月17日(金)	
	補講・定期試験期間 7月20日(月) ~ 8月 7日(金) 8月11日(火)予備日		補講・定期試験期間 7月20日(月) ~ 8月 7日(金) 8月11日(火)予備日	
	夏季休業 8月12日(水) ~ 9月6日(日)		夏季休業 8月12日(水) ~ 9月6日(日)	
	再試験(対象者のみ) 8月24日(月) ~ 8月31日(月)		再試験(対象者のみ) 8月24日(月) ~ 8月31日(月)	
	講義 9月7日(月) ~ 12月18日(金)		講義 9月7日(月) ~ 12月18日(金)	
	補講・定期試験期間 12月21日(月) ~ 12月25日(金) 1月 4日(月) ~ 1月22日(金)		補講・定期試験期間 12月21日(月) ~ 12月25日(金) 1月 4日(月) ~ 1月22日(金)	
後期	冬季休業 12月26日(土) ~ 1月3日(日)		冬季休業 12月26日(土) ~ 1月3日(日)	
	再試験期間(対象者のみ) 2月3日(水) ~ 2月10日(水)		再試験期間(対象者のみ) 2月3日(水) ~ 2月10日(水)	
	実習オリエンテーション/ 実習振り返り 2月12日(金)/ 3月15日(月)	/	実習オリエンテーション/ 実習振り返り 2月12日(金)/3月15日(月)	
	見学実習 2月15日(月)~ 3月8日(月)		生活機能演習 2月15日(月) ~ 2月26日(金)	
	春季休業 3月16日(火) ~ 3月31日(水)		評価経験実習/精神科実習 3月1日(月) ~ 3月12日(金)	
			春季休業 3月16日(火) ~ 3月31日(水)	

講義  
4月1日(水) ~ 4月10日(金)

臨床実習(模倣・解釈)  
4月13日(月) ~ 5月8日(金)

講義  
5月11日(月) ~ 5月22日(金)

臨床実習(統合Ⅰ)  
5月25日(月) ~ 7月17日(金)

講義  
7月20日(月) ~ 7月31日(金)

合同就職説明会  
7月29日(水)

臨床実習(統合Ⅱ)  
8月3日(月) ~ 9月25日(金)

就職説明会  
9月30日(水)

講義および国家試験対策  
9月28日(月) ~ 2月19日(金)

第56回 国家試験  
2月21日(日)予定

卒業式  
3月5日(金)

# カリキュラム

# 令和2年度 実施予定 カリキュラム

学校法人 巨樹の会 小倉リハビリテーション学院【理学療法学科 夜間コース】

分野	教育内容		授 業 科 目	1 年		2 年		3 年		4 年		履修時間	履修単位			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	人文科学	心理学			30						30	2			
			基礎教養		30								30	2		
			対人関係演習Ⅰ	30									30	2		
			対人関係演習Ⅱ		30								30	2		
		自然科学	統計学						30				30	2		
			情報処理	30									30	2		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び 心身の発達	解剖学	解剖学Ⅰ	30								30	2			
			解剖学Ⅱ		30								30	2		
		生理学	生理学Ⅰ	30									30	2		
			生理学Ⅱ		30								30	2		
		運動学	運動機能学Ⅰ	30									30	2		
			運動機能学Ⅱ		30								30	2		
		運動機能学演習			30								30	2		
		人間発達学	人間発達学			30							30	2		
		疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進	臨床医学総論	医学概論	30									30	2	
				病理学概論			30							30	2	
			臨床医学各論	整形外科			30							30	2	
				内科学			30							30	2	
	神経内科学					30							30	2		
	臨床心理学						30						30	2		
	精神医学				30						30	2				
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論・医学	リハビリテーションと理学療法	30								30	2			
	専門分野	基礎理学療法学	理学療法学		30				30				30	1		
			臨床運動学			30							30	2		
理学療法評価学		理学療法評価学	臨床運動学演習Ⅰ						30				30	2		
			臨床運動学演習Ⅱ						30				30	2		
			評価学演習Ⅰ	30									30	1		
理学療法治療学		疾患別理学療法学	評価学演習Ⅱ		60								60	2		
			評価学演習Ⅲ			60							60	2		
			運動療法学				60						60	2		
			物理療法学				30						30	1		
			日常生活活動学	日常生活活動学演習Ⅰ			30							30	1	
				日常生活活動学演習Ⅱ				30						30	1	
			義肢装具学	義肢学				30						30	1	
				装具学					30					30	1	
			理学療法治療学	疾患別理学療法学	中枢神経系障害の理学療法学Ⅰ				60						60	2
					中枢神経系障害の理学療法学Ⅱ					60					60	2
					運動器系障害の理学療法学Ⅰ					60					60	2
					運動器系障害の理学療法学Ⅱ						60				60	2
内部系障害の理学療法学Ⅰ									60				60	2		
内部系障害の理学療法学Ⅱ									60			60	2			
小児疾患の理学療法学						30						30	1			
理学療法学技術演習Ⅰ							30					30	1			
理学療法学技術演習Ⅱ						30				30	1					
理学療法総合学習	理学療法総合学習								60		60	2				
地域理学療法学	地域理学療法学	生活環境学				30					30	2				
臨床実習	臨床実習	地域理学療法学演習					30					30	2			
		臨床実習							810			810	18			
* 基礎分野: 講義15~30時間1単位 * 専門基礎分野: 講義・演習15~30時間1単位 実習30~45時間1単位 * 専門分野: 同上 * 臨床実習: 45時間1単位			基礎分野	90	60	30	0	0	30	0	0	210	14			
			専門基礎分野	150	120	150	60	0	0	0	0	0	480	32		
			専門分野(臨床実習を除く)	30	90	120	210	270	270	0	60	1050	39			
			臨床実習	0	0	0	0	0	0	810	0	810	18			
			前後期小計	270	270	300	270	270	300	810	60	2550	103			
			前後期合計	540	570	570	870									

シラバス



講義科目		理学療法学総合学習					
担当講師		松浦 優太 田熊 希 渡口 龍太			授業時間数	60	
開講年次		昼間コース 理学療法学科3年後期	夜間コース 理学療法学科 4年後期	単位数	2		
教育目標		臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験に値する総合的な力をつけることを目標とする					
No.	講義計画	行動目標（学習目標）		No.	講義計画	行動目標（学習目標）	
1	オリエンテーション①	①国家試験に合格するために必要な知識・技術を確認する ②国家試験の概要と学習方法を理解する ③学習計画を作成する		16	基礎医学と専門科目・総合学習⑥	①国家試験問題を解き専門基礎分野・専門分野の知識を確認する（グループ学習） ②模試試験等にて成績確認を行い、不十分な知識の習得を行う ③すでに学習している領域の習熟度が低い場合は、原因を検討し再習得を図る  ※必要に応じて教員が特別講義もしくは個別指導を実施する	
2	オリエンテーション②			17	基礎医学と専門科目・総合学習⑦		
3	基礎医学と専門科目・知識技術の整理①			18	基礎医学と専門科目・総合学習⑧		
4	基礎医学と専門科目・知識技術の整理②	19	基礎医学と専門科目・総合学習⑨				
5	基礎医学と専門科目・知識技術の整理③	20	基礎医学と専門科目・総合学習⑩				
6	基礎医学と専門科目・知識技術の整理④	①国家試験問題を解き専門基礎分野の知識を確認する（グループ学習） ②小テストを受け苦手分野を把握する  ※必要に応じて教員が特別講義を実施する		21	基礎医学と専門科目・総合学習⑪		
7	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑤			22	基礎医学と専門科目・総合学習⑫		
8	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑥			23	基礎医学と専門科目・総合学習⑬		
9	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑦			24	基礎医学と専門科目・総合学習⑭		
10	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑧			25	基礎医学と専門科目・総合学習⑮		
11	基礎医学と専門科目・総合学習①			26	基礎医学と専門科目・総合学習⑯		
12	基礎医学と専門科目・総合学習②			27	基礎医学と専門科目・総合学習⑰		
13	基礎医学と専門科目・総合学習③			28	基礎医学と専門科目・総合学習⑱		
14	基礎医学と専門科目・総合学習④	29	基礎医学と専門科目・総合学習⑲				
15	基礎医学と専門科目・総合学習⑤	30	基礎医学と専門科目・総合学習⑳				
教科書	書籍名		著者		出版社		発行年
	特に指定しない						
参考図書等	随時提示を行う						
授業方法	教員による分野別の講義およびグループ学習を実施		成績評価方法	学習への取組・定期試験を総合し評定する（定期試験はマークシート形式）			
履修上の注意	本科目は、自己の到達点と課題を明確にできる貴重な場である 個人の積極的な学習への取り組みが求められる 特に、他者に教えることで、さらに知識が深まるので積極的な知識の表出に努めてください						

講義科目	臨床実習					
担当講師	松浦 優太 田熊 希 渡口 龍太			授業時間数	810	
開講年次	昼間コース	理学療法学科3年	夜間コース	理学療法学科4年	単位数	18
教育目標	①理学療法の流れを習得し状況に応じて介入を図る。 ②理学療法士の管理・運営を理解する。 ③理学療法の意義、チームアプローチにおける理学療法士の役割と機能を理解する。					
No.	講義計画・行動目標（学習目標）					
<p>事前学習</p> <p>感染症対策等医療安全管理及び個人情報保護 医療面接及び評価・治療・技術及び基本的臨床技能</p> <p>臨床実習（4週、8週、8週、計3回の医療機関における実習） 実習施設で臨床実習教育者からの指導を通じて、下記を中心に理学療法士の役割・チーム医療について学ぶ。</p> <p>情報収集や観察・対象者に適した評価の実施。 得られた結果の統合と解釈を行い、問題点の抽出、治療目標・治療計画を立案する一連の流れを学習する。</p> <p>事後学習 事後振り返り</p>						
教科書	書 籍 名		著 者	出 版 社	発 行 年	
参考 図書等						
授業 方法	臨床実習施設における実習を通して学習する。		成績評価 方法	臨床実習施設における評定及び学内での事前・事後学習状況を総合的に評価		
履修上 の注意						